

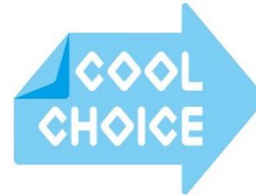
# 第5回 柏市環境審議会

## 柏市地球温暖化対策計画の改定について



環境省COOL CHOICE  
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野イマ



未来の  
ために、  
いま選ぼう。



環境省COOL CHOICE  
MOE 萌えキャラクター

COOL CHOICE 君野ミライ

環境政策課 環境政策担当

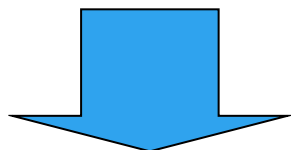
# 目次

<b>1. 本日の審議会の内容</b> .....	<b>3</b>
<b>2. 前回の審議会の振り返り</b> .....	<b>4</b>
<b>3. 計画の対象期間</b> .....	<b>7</b>
<b>4. 構成方針</b> .....	<b>8</b>
<b>5. 施策体系</b> .....	<b>10</b>
<b>6. 事業ごとの方向性</b> .....	<b>11</b>
<b>7. 削減目標の例示</b> .....	<b>19</b>
<b>8. 次回審議内容の予定</b> .....	<b>24</b>

# 1.本日の審議会の内容

## 【本日の説明内容】

- ①前回の振り返り
- ②計画の対象期間
- ③今回の改定に係る構成方針
- ④施策体系
- ⑤各施策ごとの事業の方向性
- ⑥削減目標値の例示

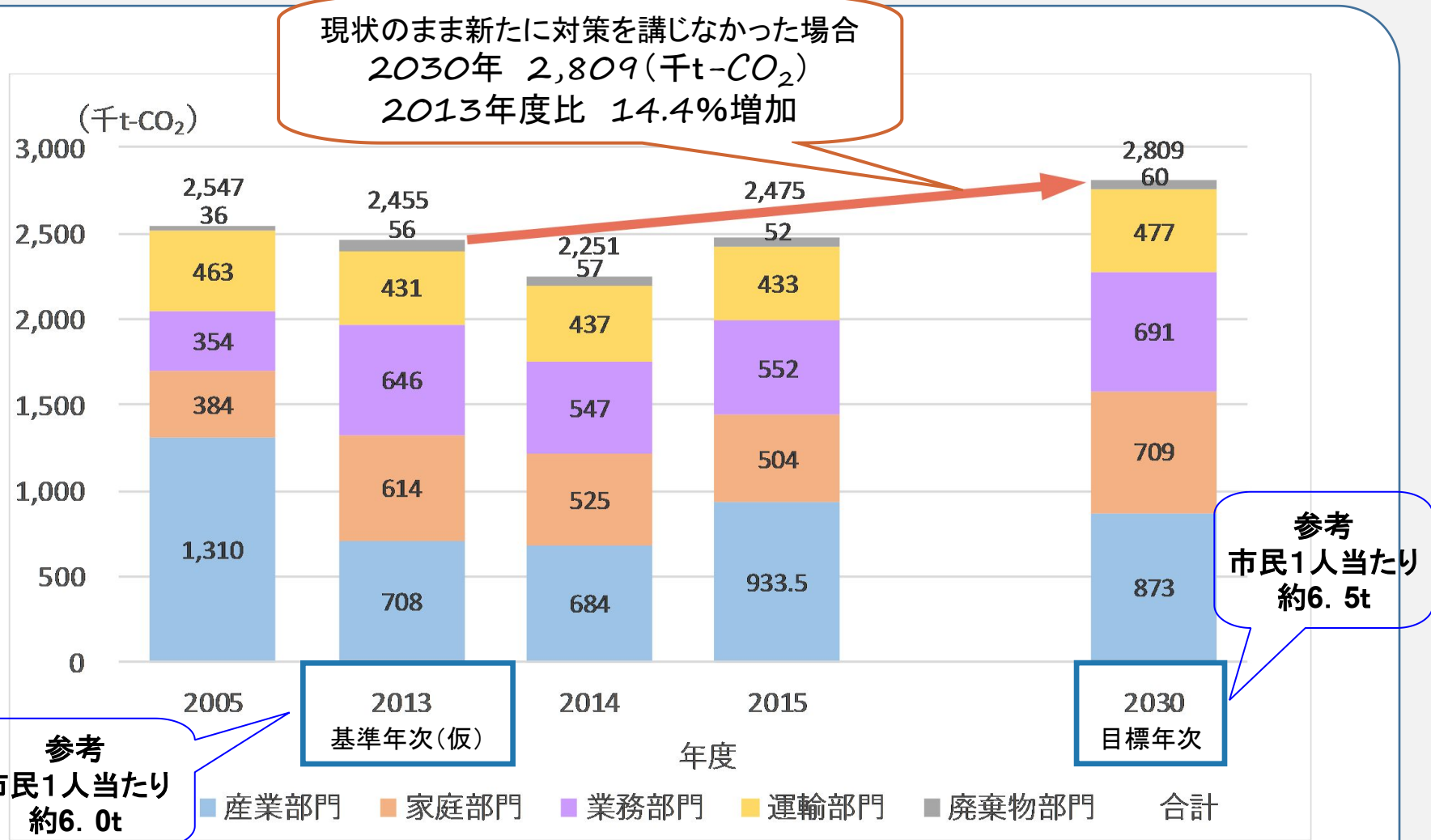


## 【今回議論をお願いしたい内容】

論点1:温暖化対策の各事業の整理

論点2:削減量の方針(目標値の仮定と事業量)

## 2.前回の審議会の振り返り (1)温室効果ガスの将来推計 (部門別)



## 2.前回の審議会の振り返り（2）**柏市の現状整理**

### **【地理的・社会的特性から見た柏市の現状】**

- ① 2030年頃まで人口の増加が見込まれる。
- ② 医療・福祉やサービス業(民生業務部門)が増加傾向にあり、建設業や製造業(製造部門)は減少傾向。
- ③ 二酸化炭素の吸収源となる緑の減少。
- ④ 市内の自動車登録台数は微増傾向にあるが、その内訳として低燃費車や低公害車の割合が増加しており、温暖化対策の進展が見られる。

## 2.前回の審議会の振り返り（2）**柏市の現状整理**

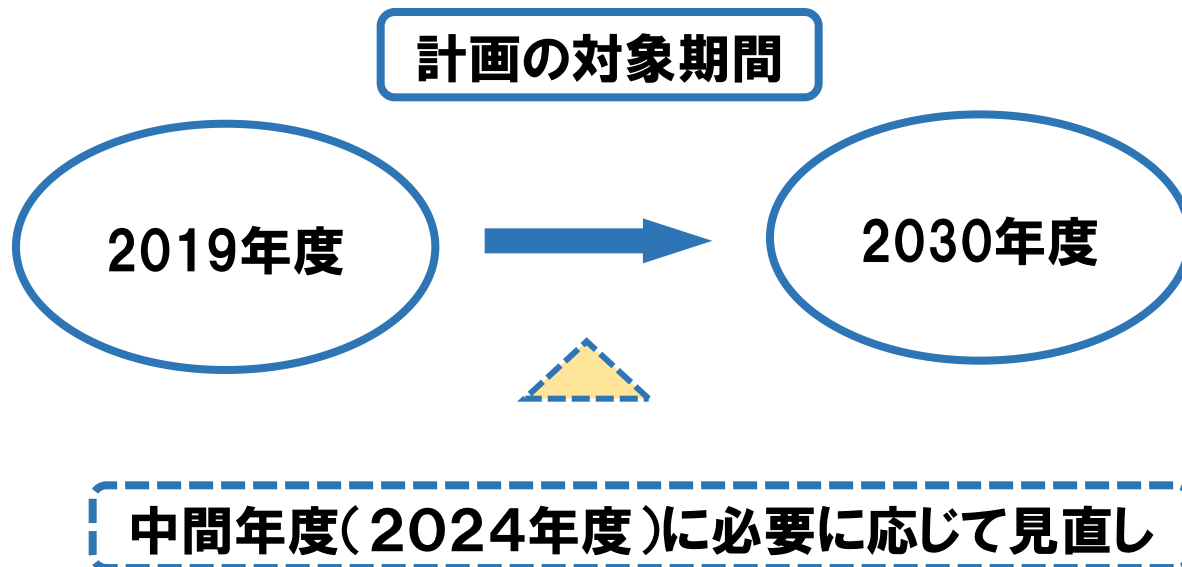
### **【温室効果ガス排出量の推計から見た柏市の現状】**

- ①**国基準で削減目標を徹底した場合、目標量の全てを家庭部門で担うことは困難である。**
- ②**4つの主要部門では突出している部門がないため、現状では、幅広く対策を検討する必要がある。**
- ③**公（国，自治体）と民間（市民，事業者）それぞれで対策可能な範囲を考慮した役割分担を整理する必要がある。**

### 3.計画の対象期間

この計画は2019年度より開始して、国の地球温暖化対策計画における中期目標に合わせて2030年度までの12年間を計画期間とする。

なお、中間年度(2024年度)において、計画の進捗状況や社会動向の変化に応じた見直しを検討する。



## 4.構成方針

### (1) 改定のポイント

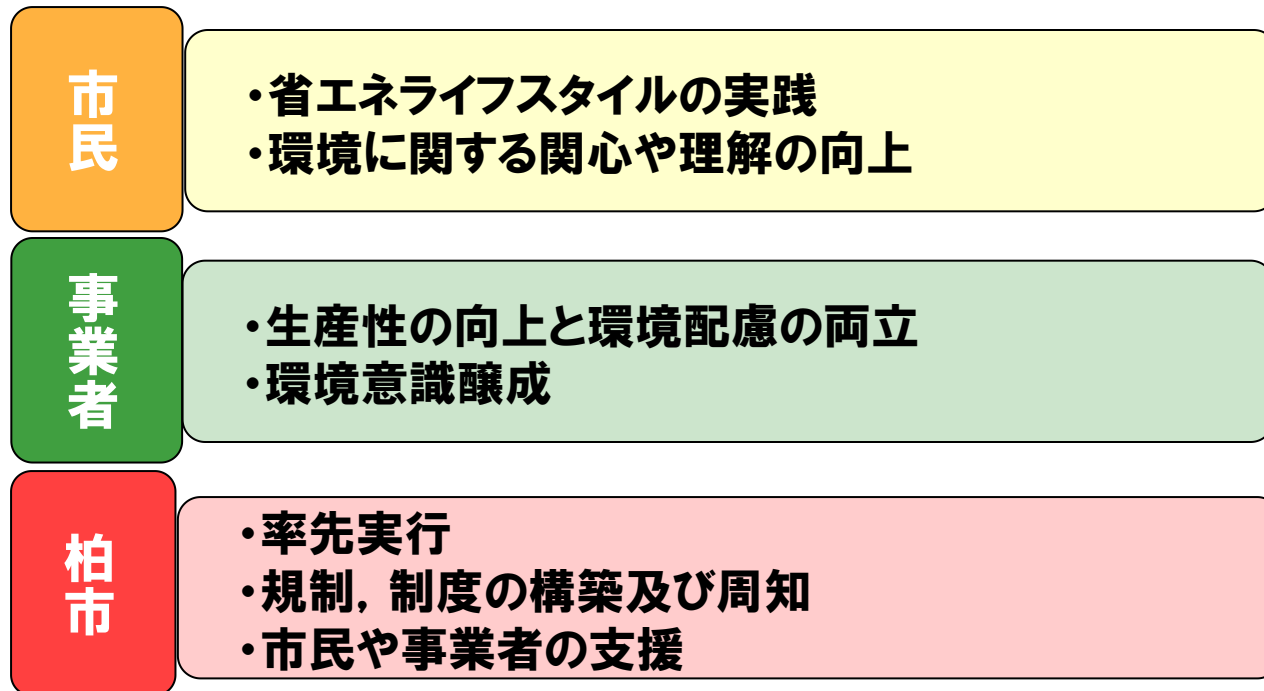
- ①地球温暖化のメカニズム、気候変動のデータ、市や市民が取り組む意義などを明確にわかりやすく解説。
- ②将来像の設定による、望ましい姿の明示
- ③柏市の自然的・社会的条件を加味した柏市独自の削減目標を検討。  
※電力等のエネルギー使用量の削減など、わかり易い指標を並列的に設定。
- ④各部門ごと(産業, 家庭, 業務, 運輸, 廃棄物)の傾向を掴み, 削減または抑制などの方向性を示す。
- ⑤第二期計画の成果と課題に基づいた緩和策の再構成
- ⑥施策ベースでの適応策の掲載



# 4.構成方針

## (2) 主体別の役割

温暖化対策の取り組みは、柏市、市民(家庭)、事業者の各主体が、ライフスタイルやビジネススタイルに応じた取り組みを積極的に実践していくことが不可欠。



# 5.施策体系

## 【緩和策】

①省エネルギー・  
創エネルギーの推進

②緑地・農地の保全

③お出かけ促進  
と公共交通の利用

④環境に配慮した  
まちづくり

推進

【環境学習・  
協働】

+

## 【適応策】

①自然災害への備え  
(防災・雨水対策)

②健康被害への対策  
(感染症・熱中症)

③緑地や水辺の保持

推進

## 6.事業ごとの方向性

### (1) 緩和策

#### ① 省エネルギーの推進・再生可能エネルギーの創出

消費エネルギー使用量の自覚と削減を促すとともに、再生可能エネルギーの利活用を積極的に取り入れていく。

##### ◆ 省エネルギーの推進

『家庭の省エネルギー推進』

『エコカーの普及促進』

『省エネ家電への転換』

『建築物の省エネルギー化』

##### ◆ 資源循環による省エネルギーの推進

『3Rの推進・ゴミ減量』

##### ◆ 企業の省エネ・創エネ支援

『事業者の省エネルギーの推進』

『低金利融資制度の活用』

##### ◆ 再生可能エネルギーの活用

『柏市エコハウス促進総合補助金  
(太陽光・エネファーム・蓄電池)』

# 6.事業ごとの方向性

## (1) 緩和策

### ②みどり・農地の保全

CO<sub>2</sub>の吸収効果やヒートアイランド現象の抑制効果を踏まえて、都市の中の緑地・農地・自然環境を生活に身近な緑として保全に努めていく。

#### ◆緑の保全と整備

『森林・緑地の保全と整備』

『協働による里山保全活動』

『カシニワ制度への参加・協力』

#### ◆ヒートアイランド対策

『緑のカーテン普及促進』

#### ◆農地の保全と活用

『農地の担い手づくりと産業力の強化』

『エコファーマー制度』

『体験農園』

『農作物の地産地消』

## 6.事業ごとの方向性

### (1) 緩和策

#### ③公共交通の利用と外出促進

外出や集いの楽しみを生み出すまちの魅力づくりを行い、公共交通を利用した外出を促進し、在宅消費エネルギーの削減を目指す。

#### ◆出かけるための魅力づくり

『自然環境・文化・産業を活かした市民のお出かけ促進』

『駅周辺等のイメージアップ』

#### ◆環境に優しく、健康的な移動手段

『公共交通の利用促進』

『ITSの活用による安全・円滑な交通環境づくり』

『自転車利用の環境整備』

ITS (Intelligent Transport Systems) とは？

高度道路交通システムの略称。人と道路と自動車との間で、情報端末による情報伝達を行い、道路交通が抱える渋滞など様々な課題を解決するためのシステムのことです。

## 6.事業ごとの方向性

### (1) 緩和策

#### ④環境に配慮したまちづくりの推進

まちづくりにおいて、低炭素社会の実現に繋がる仕組みや設備の導入を検討していく。

#### ◆低炭素まちづくりの推進

『低炭素まちづくり計画』

『立地適正化計画』

## 6.事業ごとの方向性

### (2) 適応策

#### ① 自然災害に備える(防災・雨水対策)

頻発する大雨やゲリラ豪雨など、新しい都市災害に対して備えを強化し、気候変動に適応できるまちを目指す。

#### ◆ 自然災害への適応

『集中豪雨に対するリスクの軽減』

『渇水に対するリスクの軽減』

『災害被害の拡大軽減及び予防』

## 6.事業ごとの方向性

### (2) 適応策

#### ②健康被害への対策(感染症・熱中症)

猛暑日の増加による熱中症へのリスクや、気温上昇に伴う感染症の分布の変化などについて、啓発と予防に努めていく。

#### ◆気温上昇に伴う健康被害への備え

『感染症対策』

『熱中症対策』



## 6.事業ごとの方向性

### (2) 適応策

#### ③ 緑地や水辺の保持

全ての生きものにとって大切な「水」を守るため、水の涵養地となる緑地や水辺の保全に努めていく。

#### ◆ 水循環(生態系への影響)

『水環境保全・生態系ネットワークの強化』

『地下水の涵養』

## 6.事業ごとの方向性

### (3) 環境学習・協働

環境問題をより身近な事象として捉え、生命の営みを永続させるための学びを市民と協働で進めていく。

#### ◆環境学習講座

『市民ボランティア(ストップ温暖化サポーター)の出張講座』

『環境学習研究施設(かしわ環境ステーション)』

『リボン館でのリサイクル講座の開講』

『市内の学校教育機関との交流』

## 7.削減目標の例示

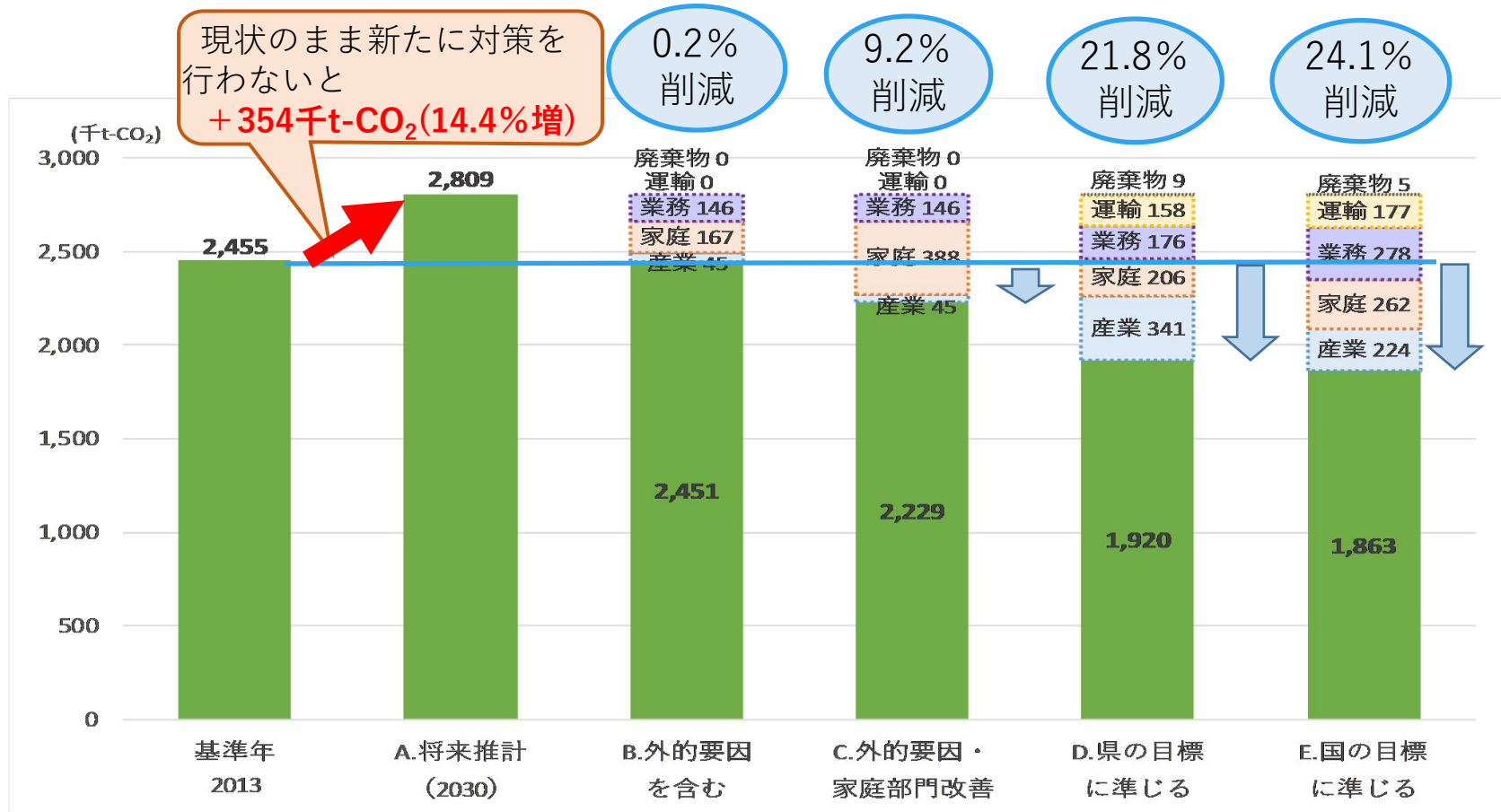
### (1) 算定条件

- ①2030年度に2013年度比で〇〇%削減する値を算出
- ②電力の排出係数改善分を反映⇒外的要因として表記
- ③外的要因のみを考慮した目標値⇒パターンB
- ④パターンBに加え、過去10年間の家庭部門の推移を加味して、最大限家庭の省エネルギー対策などが実現した場合の目標値⇒パターンC
- ⑤千葉県の各部門ごとの削減目標を準用した場合の目標値⇒パターンD
- ⑥国の各部門ごとの削減目標を準用した場合の目標値⇒パターンE

# 7.削減目標の例示

## (2) 目標値の試算 (部門ごと)

※削減率は2013年度比



# 7.削減目標の例示

## (3) 目標値の試算(市施策+外的要因)



## 7.削減目標の例示

### 【家庭部門における1世帯あたりの削減量の考察】

◎事例Cを取り上げると…

家庭部門の削減量221千t-CO<sub>2</sub>を削減するには10年後に1世帯あたり1.14t-CO<sub>2</sub>削減が必要。(1年ごとに約110kg-CO<sub>2</sub>ずつ削減)

(※2030年度の柏市内の世帯数推計193,883世帯より計算)

どんなことをすればCO<sub>2</sub>は削減できる？

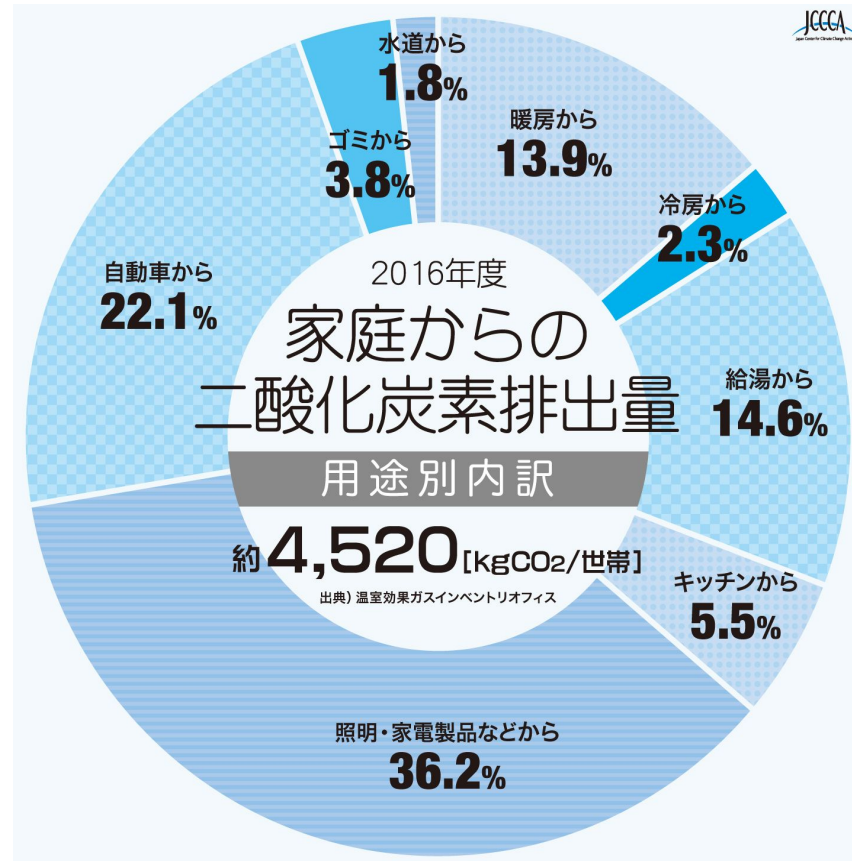
- ・12wの蛍光ランプ1灯の点灯時間を1日1時間短縮すると:年間2.6kg
- ・デスクトップパソコンの利用時間を1日1時間短縮すると:年間18.5kg
- ・冷蔵庫に詰め込んでたものを半分にすると:年間25.7kg
- ・45℃のお湯を流す時間を1分間短縮すると:年間29.0kg

(出典:資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」)

# 7.削減目標の例示

【参考：家庭における一世帯当たりの二酸化炭素排出量】

家庭における一世帯当たりの  
1年間の二酸化炭素排出量は  
約4.5t。



出典)温室効果ガスインベントリオフィス  
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<http://www.jccca.org/>)より

# 8.次回審議内容の予定

1. 各施策事業の確認
2. 削減目標値の設定
3. パブリックコメント用素案の検討